



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 クラボウ(倉敷紡績株式会社)
コード番号 3106 URL <http://www.kurabo.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 晴哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 藤井 裕詞

TEL 06-6266-5136

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	78,277	△8.7	2,415	64.4	2,364	46.8	1,335	35.0
28年3月期第2四半期	85,714	5.2	1,469	47.6	1,610	4.0	989	200.8

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 226百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △414百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.89	—
28年3月期第2四半期	4.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	172,673	87,352	48.8
28年3月期	181,549	88,759	46.8

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 84,340百万円 28年3月期 84,956百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	△4.8	4,500	3.5	4,800	6.2	3,000	15.0	13.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	242,939,284 株	28年3月期	246,939,284 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	16,304,390 株	28年3月期	20,299,098 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	226,637,892 株	28年3月期2Q	230,653,876 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. その他	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日～平成28年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益は高水準を保ち、雇用・所得環境も改善傾向で推移しましたが、中国の景気減速やその他の新興国の成長鈍化に加え、本年6月の英国のEU離脱決定の影響などもあり、景気の先行きに不透明感が漂いはじめました。

このような環境下において当社グループは、本年4月よりスタートした新中期経営計画「Advance'18」の基本方針である「収益拡大に向けた事業変革」のもと、将来市場を見据えたマーケット志向型事業への転換を図り、高付加価値かつ高収益ビジネスの追求、技術革新と新規事業創出などにも注力しました。

なお、新規事業である「徳島バイオマス発電所」が本年7月に竣工し、売電事業を開始しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は782億円（前年同期比8.7%減）、営業利益は24億1千万円（同64.4%増）、経常利益は23億6千万円（同46.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億3千万円（同35.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(繊維事業)

原糸分野は、国内外の連携によるグローバルな生産・販売により堅調に推移しました。

カジュアル分野は、国内販売が堅調に推移したものの、輸出が円高の影響を受け、収益面できびしい状況が続きました。

海外子会社におきましては、東南アジアは収益面で一部に改善が見られましたが、ブラジルは経済情勢悪化の影響などにより低調でした。

この結果、売上高は348億円（前年同期比15.8%減）、営業利益は3億2千万円（同13.0%増）となりました。

(化成品事業)

自動車分野では、内装材向け軟質ウレタンフォームは国内の生産台数が低水準で推移するなか輸出向けが好調でした。また、フィルター向け不織布なども順調に推移しました。

機能フィルム分野は、文具向け製品などが順調に推移しました。また、高機能樹脂加工品は、半導体製造向けが好調でした。

住宅建材分野は、防水向け繊維補強資材が堅調に推移し、エクステリア商品なども順調でした。

この結果、売上高は279億円（前年同期比2.3%増）、営業利益は9億円（前年同期は営業損失8千万円）となりました。

(環境メカトロニクス事業)

エレクトロニクス分野は、飲料容器の検査装置や半導体向け成分計が堅調に推移しました。

バイオメディカル分野は、海外向けの核酸自動分離装置が順調でした。

エンジニアリング分野は、収益面できびしい状況が続きました。

工作機械分野は、国内外の設備投資の不振を受け、主力の横中ぐりフライス盤が低調でした。

この結果、売上高は83億円（前年同期比17.1%減）、営業損失は1億2千万円（前年同期は営業利益2億2千万円）となりました。

(食品・サービス事業)

食品分野は、即席めん具材及びスープ市場向け製品が好調に推移しました。

ホテル分野は、宿泊部門及び物販部門が堅調に推移しました。

この結果、売上高は49億円（前年同期比3.6%増）、営業利益は4億8千万円（同26.4%増）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業の推進に注力した結果、売上高は21億円（前年同期比0.1%増）、営業利益は15億7千万円（同0.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や売上債権が減少したことなどにより、1,726億円と前連結会計年度末に比べ88億円減少しました。

負債は、短期借入金や仕入債務が減少したことなどにより、853億円と前連結会計年度末に比べ74億円減少しました。

純資産は、非支配株主持分や為替換算調整勘定が減少したことなどにより、873億円と前連結会計年度末に比べ14億円減少しました。

以上の結果、自己資本比率は2.0ポイント増加して48.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ36億3千万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には147億3千万円（前年同期末は199億8千万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、49億4千万円（前年同期比7億2千万円資金減）となりました。これは、仕入債務の減少による資金減21億8千万円があったものの、売上債権の減少による資金増33億1千万円や減価償却費の内部留保24億3千万円があったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、26億9千万円（前年同期比3億1千万円資金減）となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出28億3千万円があったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、55億9千万円（前年同期比51億3千万円資金減）となりました。これは、短期借入金の純減額30億8千万円や配当金の支払額11億3千万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の連結業績予想につきましては、現時点では平成28年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益（損失）に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,538	15,534
受取手形及び売掛金	40,058	36,119
有価証券	1	155
商品及び製品	12,062	11,706
仕掛品	8,004	9,516
原材料及び貯蔵品	4,734	4,552
その他	4,848	5,015
貸倒引当金	△296	△268
流動資産合計	88,951	82,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,579	24,979
その他(純額)	28,736	27,653
有形固定資産合計	54,316	52,633
無形固定資産		
	797	669
投資その他の資産		
投資有価証券	33,871	33,535
その他	4,395	4,302
貸倒引当金	△782	△800
投資その他の資産合計	37,484	37,038
固定資産合計	92,597	90,341
資産合計	181,549	172,673
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,375	21,670
短期借入金	24,438	20,682
未払法人税等	1,183	832
賞与引当金	1,344	1,324
その他	10,965	11,239
流動負債合計	62,306	55,747
固定負債		
長期借入金	2,950	2,571
役員退職慰労引当金	176	146
退職給付に係る負債	11,275	11,414
その他	16,080	15,440
固定負債合計	30,483	29,572
負債合計	92,790	85,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,040	22,040
資本剰余金	18,207	17,415
利益剰余金	48,508	48,710
自己株式	△3,795	△3,048
株主資本合計	84,959	85,118
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,497	9,294
繰延ヘッジ損益	△162	△215
為替換算調整勘定	△8,007	△8,769
退職給付に係る調整累計額	△1,331	△1,086
その他の包括利益累計額合計	△3	△777
非支配株主持分	3,802	3,011
純資産合計	88,759	87,352
負債純資産合計	181,549	172,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	85,714	78,277
売上原価	73,100	65,355
売上総利益	12,614	12,921
販売費及び一般管理費	11,144	10,505
営業利益	1,469	2,415
営業外収益		
受取利息	77	46
受取配当金	410	435
持分法による投資利益	13	21
その他	287	235
営業外収益合計	789	739
営業外費用		
支払利息	254	243
為替差損	2	262
特別調査費用	212	—
その他	179	284
営業外費用合計	648	790
経常利益	1,610	2,364
特別利益		
投資有価証券売却益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
減損損失	—	204
事務所移転費用	—	102
特別損失合計	—	307
税金等調整前四半期純利益	1,623	2,057
法人税等	602	644
四半期純利益	1,021	1,412
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	77
親会社株主に帰属する四半期純利益	989	1,335

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,021	1,412
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△829	△202
繰延ヘッジ損益	△211	△53
為替換算調整勘定	△499	△1,113
退職給付に係る調整額	112	244
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	△61
その他の包括利益合計	△1,435	△1,186
四半期包括利益	△414	226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△400	561
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△335

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,623	2,057
減価償却費	2,609	2,434
減損損失	—	204
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	86	289
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	54	△32
受取利息及び受取配当金	△488	△482
支払利息	254	243
為替差損益 (△は益)	26	47
持分法による投資損益 (△は益)	△13	△21
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△4	△2
有形及び無形固定資産除却損	27	20
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△19	—
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	13	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,605	3,313
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△617	△1,490
仕入債務の増減額 (△は減少)	△390	△2,186
前受金の増減額 (△は減少)	△613	927
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	30	5
事業構造改善引当金の増減額 (△は減少)	△46	—
その他	349	335
小計	6,486	5,662
利息及び配当金の受取額	512	578
利息の支払額	△212	△214
法人税等の支払額	△1,122	△1,084
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,664	4,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	17	321
有価証券の取得による支出	—	△100
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,451	△2,839
有形及び無形固定資産の売却による収入	20	4
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	31	—
貸付けによる支出	△5	△0
貸付金の回収による収入	20	1
その他	△8	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,382	△2,696

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,586	△3,088
長期借入れによる収入	150	—
長期借入金の返済による支出	△374	△325
自己株式の取得による支出	△2	△1
自己株式の売却による収入	—	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△32	△30
配当金の支払額	△1,152	△1,131
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△446
その他	△633	△570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△458	△5,593
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155	△290
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,667	△3,637
現金及び現金同等物の期首残高	17,196	18,372
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	121	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,986	14,735

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	41,360	27,330	10,031	4,797	2,194	85,714	—	85,714
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	44	10	49	19	216	340	△340	—
計	41,404	27,340	10,081	4,817	2,411	86,055	△340	85,714
セグメント利益 又は損失(△)	286	△89	224	385	1,569	2,376	△906	1,469

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△906百万円には、全社費用△908百万円及びその他の調整額1百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	34,826	27,962	8,320	4,971	2,196	78,277	—	78,277
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	60	6	74	23	219	384	△384	—
計	34,887	27,969	8,394	4,994	2,415	78,661	△384	78,277
セグメント利益 又は損失(△)	323	904	△120	486	1,576	3,171	△756	2,415

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△756百万円には、全社費用△756百万円及びその他の調整額0百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、将来の市場を見据えたマーケット志向型事業へ転換するため、平成28年4月1日から従来の7つの事業セグメントの再編を実施しました。具体的には、これまで「繊維事業」に属していた不織布、繊維補強資材分野を、市場が共通する「化成品事業」へ移管し、機械装置や環境をキーワードに事業展開していた工作機械事業、エレクトロニクス事業、その他の事業（エンジニアリング事業及びバイオメディカル事業）を「環境メカトロニクス事業」として統合、さらに、食品事業とホテル経営等のサービス事業を「食品・サービス事業」とし、「不動産事業」を合わせ、5つの事業セグメントとしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	繊維事業	化成品事業	環境メカトロニクス事業	食品・サービス事業	不動産事業	計	調整額	合計
減損損失	—	—	—	—	204	204	—	204

4. その他

(参考情報)

(1) 従業員数の推移 (連結)

(単位:人)

26年9月期	4,761
27年9月期	4,659
28年9月期	4,595
27年3月期	4,628
28年3月期	4,563

(注) 上記のほか、臨時社員・パートタイマー (28年9月期 1,161人) がおります。

(2) 有利子負債の推移 (連結)

(単位:百万円)

26年9月期	32,505
27年9月期	32,296
28年9月期	23,253
27年3月期	30,478
28年3月期	27,388

(注) 長・短期借入金の合計金額であります。

(3) 設備投資額・減価償却費の推移 (連結)

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費
26年9月期	1,823	2,748
27年9月期	2,797	2,609
28年9月期	1,922	2,434
27年3月期	3,592	5,703
28年3月期	7,285	5,236
29年3月期 (予想)	4,600	4,900

(4) 平成29年3月期の通期業績予想 (連結)

(単位:百万円)

	合計	繊維事業	化成品 事業	環境メカ トロニク ス事業	食品・サー ビス事業	不動産 事業	消去又は 全社
売上高	165,000	70,500	57,700	22,500	10,000	4,300	—
営業利益	4,500	500	1,600	300	800	3,000	△1,700
経常利益	4,800						
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,000						